

いわき市地域情報化基本計画

いわき市

情報を活用し創造する時代に向けて

「情報革命」又は「IT革命」といわれる大きな変革の波が世界的な規模で広がっています。

インターネットや携帯電話に代表される高度な情報通信技術の普及進展に伴うこの波は、私たちが暮らす地域社会にも例外なく押し寄せ、ライフスタイルや企業活動の形態など社会経済のありとあらゆる側面に大きな影響を及ぼしつつあります。

情報が物質やエネルギーと同等以上の資源とみなされ、社会経済全体がその価値を中心に機能し、発展する方向に大きく変化してきており、高度な情報通信技術の普及進展は、その勢いをさらに加速させています。

このような高度情報化社会の進展は、私たちの価値観を「物」よりも「情報」を重視する方向に向かわせ、物の豊かさだけでなく心の豊かさを求める新たな潮流を生じさせています。



いわき市長
四家 啓助

これまでの人類発展の歴史は、生産技術の進歩とともに築かれてきたといわれています。

「農業革命」といわれる農業技術の進歩に伴い、食料が増産されるようになり、「産業革命」といわれる工業技術を中心とした進歩に伴い、大量の製品が生産されるようになりました。いわば、農業革命では人間の内臓を満たし、産業革命では人間の手足や筋肉の働きを補強することによって、多くの人々が物質的に豊かに暮らせるようになりました。

生産技術の進歩は、働き方を変えるだけでなく、生活様式やその背景にある意識や価値観、社会の根底をなす制度や枠組みまでも大きく変えてしまう可能性を持っています。

第三の革命といわれる「IT革命」は、情報通信技術という人間の頭脳の働きを補強する生産技術によって、まさに新たな発展の歴史を刻もうとしています。

私は、21世紀は、まさに、全ての人々があらゆる場面で「情報」を活用し創造していく時代であり、今まで以上に精神的な豊かさや一人ひとりが持つ能力や個性が重視される時代になるだろうと考えております。

そのような時代の中で、地域情報化を推進するにあたっては、市民一人ひとりが情報の価値をこれまで以上に重視し、これを上手に活用したり創造することによって、その能力や個性を最大限に引き出しながら、あらゆるものの附加価値を高め、「いわき」というまち全体を魅力と活力に満ちたものにしていくという視点が重要であると考えております。

この「いわき市地域情報化基本計画」は、これから本市が地域全体の情報化を推進するための指針となるものであり、情報化をまちづくりの手段として位置づけ、人、企業、行政などを情報のネットワークで結びつけることにより、本市が持つ地域資源や機能を生かし、「誇れるいわき」づくりに官民協働で取り組むこととしております。

私は、この計画を指針として、市民の皆様があらゆる場面で情報を活用し創造する時代に向けたまちづくりに全力を傾注して取り組んで参りますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定のために、熱心に審議、検討をいただきました「いわき市地域情報化推進懇話会」や「いわき市地域情報化推進ワーキンググループ」の市民委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成14年5月

はじめに

情報は、私たちが生活や経済活動をしていく上で、不可欠の存在となっています。

新聞、ラジオ、電話、テレビ、インターネットなど、情報を伝え利用するための手段は、年々進歩し、高度化・多様化の一途をたどっています。

特に、近年のインターネットや携帯電話などに代表される情報通信技術(I T)の急速な普及は、かつて電話やテレビが登場したときのように私たちの暮らしを飛躍的に便利にするとともに、「 I T 革命」といわれるような世界的規模での急激かつ大幅な社会経済構造の変革を生じさせています。

わが国においては、このような状況を踏まえ、 I T 革命に的確に対応するため「 I T 基本法」を制定するとともに、平成 17 年(2005 年)までにわが国が世界最先端の I T 国家となることを目標とする「 e - J a p a n 基本戦略」を策定し、情報化施策を重点的・戦略的に展開することとしました。

また、福島県においては、平成 12 年 7 月に、本県における高度情報通信社会構築にむけた将来構想である「うつくしま e ビジョン」を策定し、「ハイクオリティ電子社会ふくしまの創造」を基本目標として、情報化施策を積極的に展開しています。

このような中、本市においては、21 世紀における私たちのまち「いわき」を夢と希望の持てるすばらしいふるさとにするため、新たなまちづくりの指針となる新・いわき市総合計画「ふるさと・いわき 21 プラン」を策定し、「創りたい ゆたかな明日、伝えたい 誇れるいわき。」を市民共通の合言葉として掲げ、平成 13 年度から、この計画に基づくさまざまな施策をスタートさせました。

中でも、情報化については、施策の大きな柱として掲げ重点的に推進することとしています。

これまでも、行政の情報化については、7 次につながる電算処理開発計画を策定し、限られた財源を最大限に活用し、多様化する行政需要に的確に対応できるよう、行財政システム改善に取り組んできました。

しかし、 I T の飛躍的な進展は、行政だけでなく、市民、企業など地域社会全体に大きな影響を与えつつあり、新・いわき市総合計画のめざすまちづくりを効果的・効率的に進めていくためには、行政の情報化施策だけでなく、環境、保健・医療・福祉、教育・文化などまちづくりの各分野における情報化に関する施策を地域情報化の視点から体系的に整理し、地域の情報化と行政の情報化を一体的に推進していくことが強く求められています。

このようなことから、本市においては、行政の情報化を地域の情報化の一部として一体化し、本市まちづくりの指針である新・いわき市総合計画のめざすまちづくりを地域情報化の観点から効果的・効率的に推進するため、「いわき市地域情報化基本計画」を策定することとしました。

本計画においては、情報化をまちづくりのための手段として位置付け、広大な市域の中に個性豊かな多くの地域が点在する本市の都市構造を踏まえ、情報通信技術を活用することにより、地域と地域、人、企業、行政などを情報のネットワークで結び、自然、文化、歴史、産業など多様な地域の特性や機能を生かした、いわきの魅力を更に高め、新・いわき市総合計画のめざすまちづくりの実現に向け、官民協働で進めて行くことを基本に据え、本市が取り組むべき情報化施策を総合的・体系的に掲げています。

この基本計画書は、大きく分けて第1章から第3章までの3部構成となっています。各章の概略は次のとおりです。

(本書の全体構成)

第1章 計画の策定にあたって

1 情報化に対する基本的な認識 IT革命、情報化進展による影響

2 計画策定の趣旨 目的、位置づけ、計画期間

3 本市を取り巻く情報化の基本的課題

(1) 全般的な課題

情報化に関して
解決しなければならない課題



(2) 分野別の課題

生活分野の課題



産業分野の課題



行政分野の課題



第2章 本市地域情報化の理念と施策の方向

推進
ビジョン

1 基本理念

i コミュニケーションの創造
【いわき】iwaki
【情報】information
【相互交流】intercommunication



2 基本方針

生活者起点の情報化
将来世代に責任の持てる情報化
地域全体の協働による情報化

3 本市地域情報化施策の方向

(1) まちづくりのための情報化施策

安全で
安心できる
いわき



快適で
豊かな
いわき



元気で
活力ある
いわき



(2) 情報化を推進するために必要な施策

横断的対応



(3) 行政情報化のための施策

まちづくりのために
必要な
行政の情報化



第3章 施策の推進

1 施策推進に当たっての留意事項

2 マスタースケジュール

[前期]平成14～17年度
[後期]平成18～22年度

3 推進体制

いわき市地域情報化基本計画 ～ 目次

本 編 (1頁 ～ 43 頁)

第 1 章 計画の策定にあたって

- 1 情報化に対する基本的な認識 1 頁
 - (1) 情報化の進展
 - (2) 情報化進展の影響
 - (3) 情報化と地域の関係
 - (4) まちづくりの手段としての情報化
- 2 計画策定の趣旨 3 頁
 - (1) 策定の必要性
 - (2) 総合計画の概要
 - (3) 計画の位置づけと役割
 - (4) 計画期間
- 3 本市を取り巻く情報化の基本的課題 5 頁
 - (1) 全般的な課題
 - (2) 分野別の課題

第 2 章 本市地域情報化の理念と施策の方向

- 1 基本理念 - i コミュニケーションの創造 - 9 頁
- 2 基本方針 11 頁
 - (1) 生活者起点の情報化
 - (2) 将来世代に責任の持てる情報化
 - (3) 地域全体の協働による情報化
- 3 本市地域情報化施策の方向 13 頁
 - (1) まちづくりのための情報化施策 まちづくりの i
 - (2) 情報化を推進するために必要な施策 i で広げる
 - (3) 行政情報化のための施策「電子市役所の推進」 i で進める

第 3 章 施策の推進

- 1 施策推進に当たっての留意事項 37 頁
- 2 マスタースケジュール 38 頁
- 3 推進体制 42 頁

資 料 編 (44 頁 ～ 98 頁)

資料編(計画の前提) ~ 目次

資料編 (44 頁 ~ 98 頁)

1 情報化の現状	・・・	45 頁
(1) 情報通信の現状		
(2) 行政情報化の現状		
2 関連計画の整理	・・・	63 頁
(1) 国の情報通信政策		
(2) 福島県の情報通信政策		
(3) 本市における情報化関連計画		
3 今後の情報通信技術の動向と社会の姿	・・・	68 頁
(1) 情報通信技術の動向		
(2) 今後の社会のイメージ		
4 アンケート調査結果	・・・	78 頁
5 用語解説	・・・	93 頁
参 考	・・・	100 頁

資料編

(計画の前提)



コミュニケーションの創造

地域全体の「連携」により、広さと多様さを活かして「活力」を生み出し、「誇れるいわき」づくりを進めるための地域情報化